環境報告書 2022

1周4キロのサイクリングコース

カルテット

タンデムサイクル

セグウェイ

名取市サイクルスポーツセンター

「名取閑上天然温泉（輪りんの宿）」

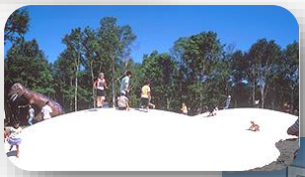
お部屋

手ぶらでフィッシング
（宿泊者限定）

地下1200mから湧き出す温泉

遊具広場

噴水の広場



ふわふわドーム

フットサルコート

3×3バスケットコート

スケートボード場

ハンバーグで有名な名取のレストラン HACHI が
食堂をオープン

株式会社オイルプラントナトリ

CONTENTS

ごあいさつ、会社目標・・・・・・・・・2

会社概要・・・・・・・・・・・・・・3～4

環境方針、経営理念・・・・・・・・・・5

環境管理組織体制・・・・・・・・・・・6

環境保全活動・・・・・・・・・・7～１１

■省エネ・CO2削減
■教育・訓練
■コンプライアンス活動
■安心・安全をめざして
■環境監査
■工場見学者様からの御意見

地域社会との関わり・・・・・１２～１３

ＳＤＧｓの取組、協定書関連・・・・１４

環境報告書について

本報告書は、株式会社オイルプラントナトリの2021年度の
環境保全への取り組みと実績を報告するものです。

ごあいさつ

代表取締役社長
武田 洋一

高度経済成長によって、豊かな文明が栄えた社会環境を創り上げてきた素晴らしい20世紀・・・。

その豊かさと引き換えに生み出されてきた大量の産業廃棄物・二酸化炭素の増加に伴う地球温暖化の問題等も、また、20世紀の姿であるといえます。

そして、昭和32年来、先代の手によって、環境汚染の問題にいち早く取り組み、思考と努力によって、リサイクル事業における様々なノウハウと技術力を培ってきた時代でもあります。

「燃やす・埋める」行為から、「リデュース・リユース・リサイクル」へ、「20世紀・大量生産、大量廃棄時代」から、「21世紀循環型経済社会」へと環境問題に対し社会の在り方が、大きく変わり始めています。

ダイオキシン（環境ホルモン）をはじめ、人体への影響を与える様々な環境汚染を未然に防ぎ、省エネルギーを基盤に、限りある資源を有効に活かすことこそが21世紀の在るべき姿であると考えます。

これからも、私たちオイルプラントナトリは「環境保全と省エネルギー」の為に木くずや廃油を燃料にした、創業時の理念の基、自然環境との共生、そしてクリーンな社会環境・人にやさしい環境等、グローバルな視点に立った姿勢で事業に取り組んでまいります。より一層の御指導と御鞭撻の程を切に御願い申し上げます。

令和4年度 会社目標

【スローガン】

「3R」次代は調和で乗切る！

～サーキュラーエコノミーを実感しよう～

【基本理念】

私たちは「すてない」喜びを伝える事を業務とし この地「広浦」に社員が集う『創造郷』をつくる事を目指す

❶顧客に対して

「なるほど」と感じ「ありがとう」と満足頂ける産廃処理のプロであること

❷社員に対して

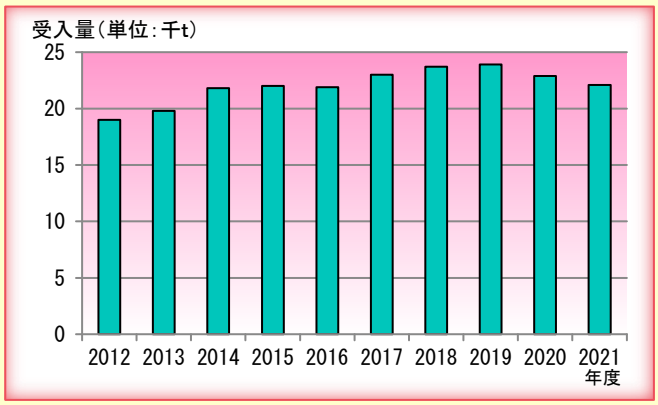
目標が共有でき、安心して夢を持ち働けると感じられる関係をつくること

❸環境に対して

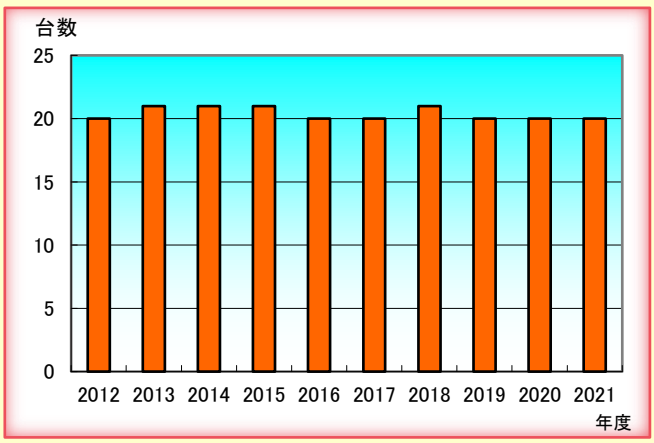
利益は大事だが、営利優先で地域や環境に恒久的迷惑を掛けないこと

会社概要

- 社　　名　株式会社オイルプラントナトリ
- 創　　業　昭和32年3月
- 本　　社　宮城県名取市増田三丁目4番3号
- 事 務 所　宮城県名取市下増田字広浦52番3号
  ☎ 022-382-2713　🖷022-384-0946
  E-Mail　opn-amenity@msf.biglobe.ne.jp
  URL　http://www.opnatori.co.jp/
- 第１工場　宮城県名取市下増田字広浦35番48号
- 第２工場　宮城県名取市下増田字広浦52番3号
- 法人設立　昭和63年4月
- 資 本 金　3，000万円
- 役職員数　51名（2022年4月1日現在）
- 受入量



- 収集運搬車輌推移

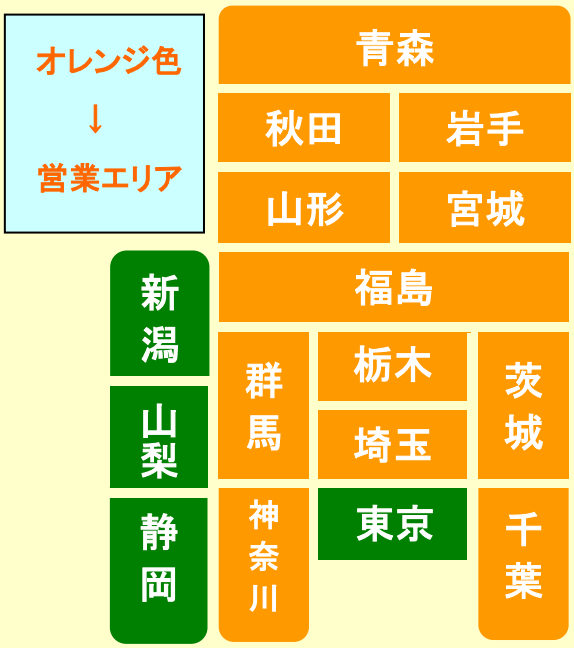


- 敷地

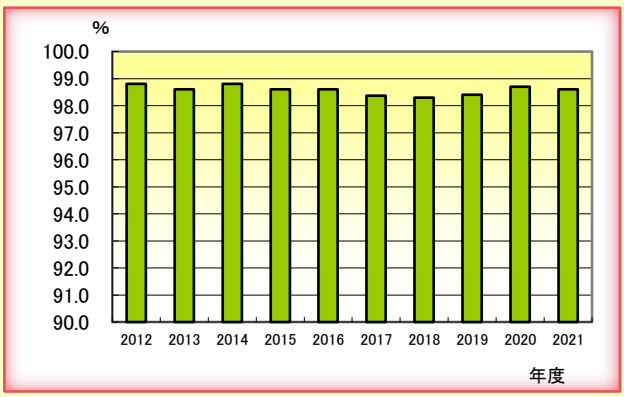
第2工場　7,127.41m²　　第1工場　6,230.71m²

平成16年度　撮影

- 産業廃棄物処分業許可
  産業廃棄物処分業　宮城県
  特別管理産業廃棄物処分業　宮城県
- 産業廃棄物収集運搬業・許可（県）



- 石油製品販売業者
  通商産業省第2-4-0-2740号
- 販売品
  - ・バイオECO燃料（BDF）
  - ・再生B重油
  - ・鉱物系補助燃料
  - ・塩素含鉱物系補助燃料
  - ・溶剤系補助燃料
  - ・塩素含溶剤系補助燃料
- 受注産業廃棄物のリサイクル率推移



〔主要設備および処理能力〕

❒ 車輌関係

（2022年4月1日現在）

運搬車両	台数
12kℓタンクローリー	5台
10kℓタンクローリー	1台
5kℓタンクローリー	1台
4kℓタンクローリー	3台
14kℓ再生重油配達車	1台
13tウィングパワーゲート付車	1台
6tウィングパワーゲート付車	1台
6tユニックパワーゲート付車	1台
3tウィングパワーゲート付車	2台
3t平パワーゲート付車	1台
2t平パワーゲート付車	1台
2tローリーBDF配達車	1台
4tアームロール車	1台
ライトバン	2台
構内車両	**台数**
3tウィング移動中間処理車	1台
ホイルローダー	1台
バックホー	1台
フォークリフト	5台
4kℓタンクローリー	1台
2tダンパー車	1台
合計	32台

12tﾀﾝｸﾛｰﾘｰ

13tｳｨﾝｸﾞ

6tﾕﾆｯｸ車

4tﾀﾝｸﾛｰﾘｰ

移動中間処理車
（食品残渣付廃プラ）

4tｱｰﾑﾛｰﾙ

❒ 中間処理施設

・油水分離処理施設

廃オイル⇒再生重油
30m³／日（10時間稼動）

・混合処理施設

汚泥・木くず類⇒原料化
48m³／日（8時間稼動）

・破砕処理施設

廃プラ⇒固形燃料
11.4t／日（8時間稼動）

・中和処理施設

中和撹拌タンク

廃酸・廃アルカリ⇒加工用水
43m³／日（10時間稼動）

・混合処理施設

廃溶剤⇒代替エネルギー　水溶性廃液⇒加工用水
156m³／日（10時間稼動）

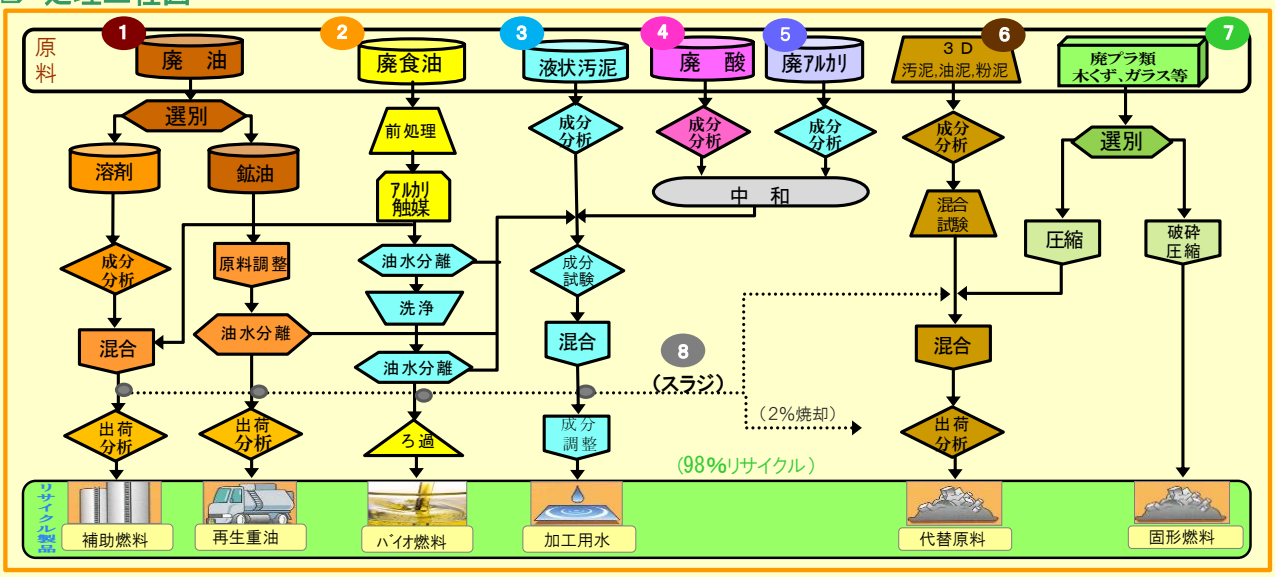
・廃食油の燃料化施設

てんぷら油⇒ﾊﾞｲｵﾃﾞｨｰｾﾞﾙ燃料
15m³／日（10時間稼動）

・廃棄物分析室

蛍光X線分析装置
ガスクロマトグラフ分析装置
電気炉、引火点、水分分析
カロリーメーター等

❒ 処理工程図



環境保全活動に関する方針

環境方針

株式会社オイルプラントナトリは廃棄物の有効利用、及び再資源化を通じて
生活環境の継続的な向上に全社員参加で貢献します。

1. 委託された廃棄物は、安全且つ適正な収集運搬と処分を行うと共に、有効利用、再資源化技術の向上に取り組み、環境保全、省エネルギー、省資源に努めます。
2. 作業工程での環境への配慮に努め、汚染の予防及び環境マネジメントシステムの継続的な改善をします。
3. 環境に関する法律、規制、条例及びその他要求事項を遵守します。
4. 環境目的、目標を定め、実施状況を確認し、定期的に見直しを図ります。

『≪もったいない≫をモットーに重点テーマを次に定めます』

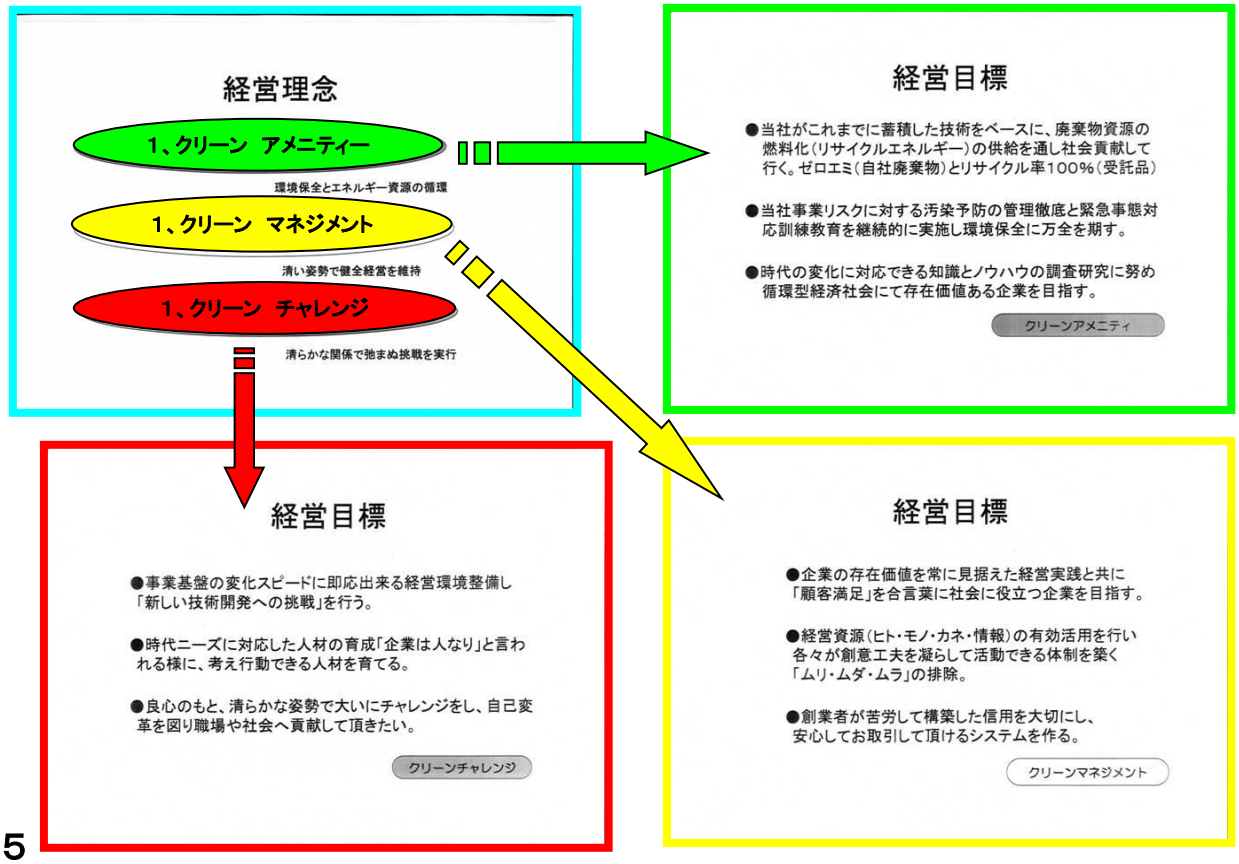
- ◎ バイオＥＣＯ燃料（廃食用油の燃料化）による大気汚染物質の低減に寄与
- ◎ 施設・設備・作業環境の点検及び管理の徹底
- ◎ ＳＤＳや物性表の入手を徹底し廃棄物の安全性の確認により適正処理
- ◎ 収集運搬における車輌及び容器の点検及び管理の徹底
- ◎ 事業活動におけるエネルギー消費とCO_2発生の削減
- ◎ 廃棄物の燃料化、原料化、資源化のリサイクルの推進

5. この環境方針を継続的に実行するため、文書化し全従業員に周知します。
また、出入り業者に対しても協力を要請します。
6. この環境方針は、積極的に社外に公開します。

2022年1月5日

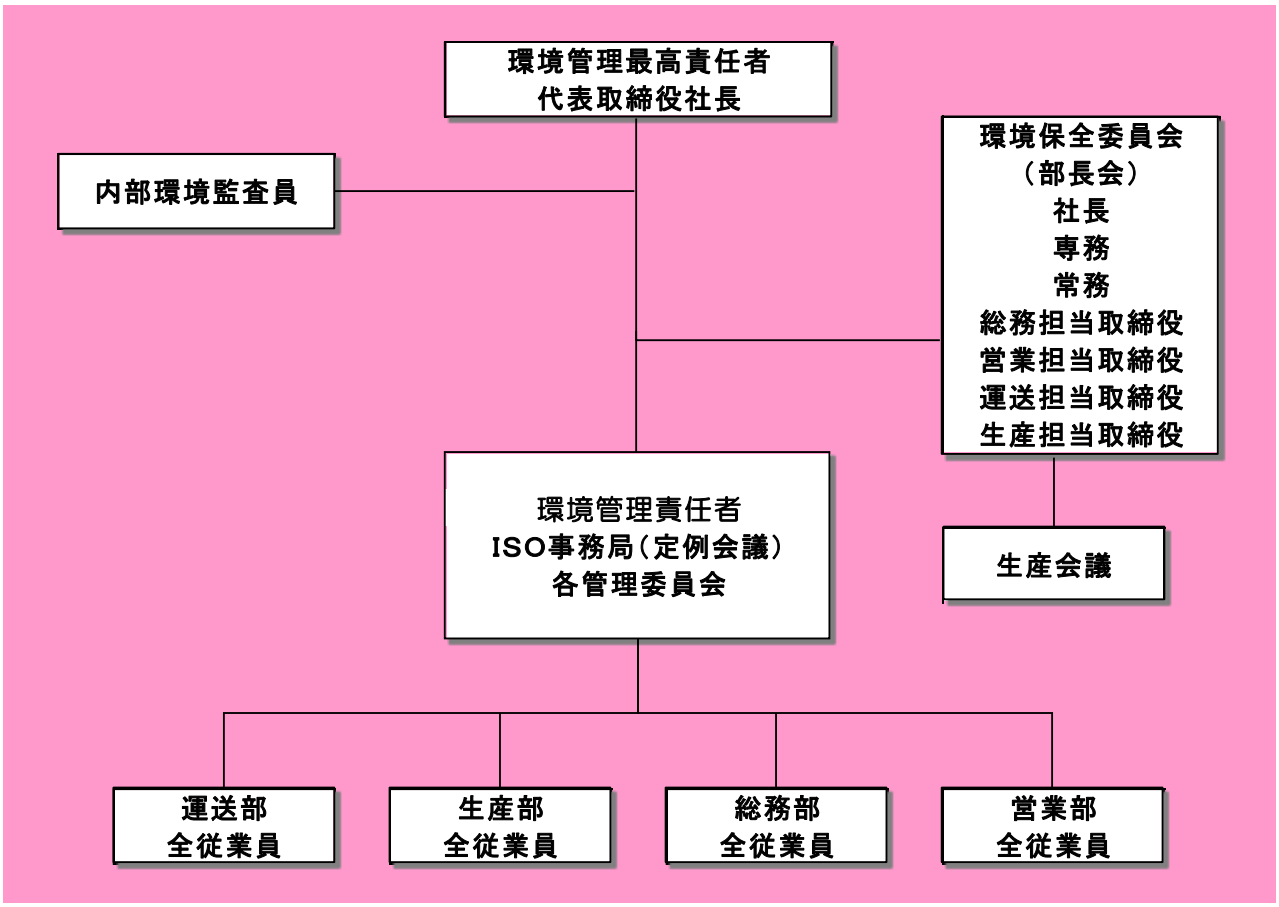
株式会社　オイルプラントナトリ
代表取締役社長　武田　洋一

経営理念



環境管理組織体制

当社の環境保全活動は、下図のような体制で運営されています。
メンバーが全員役員で構成される≪環境保全委員会≫を設置し、経営と現場の両方の視点から迅速な対応を実現しております。
また、事業活動全体の環境負荷を把握し、効率的な環境活動を行うため、ISO事務局会議や生産会議（各部間の連携を目的とする）および内部環境監査員、各管理委員会の協力の上で、定期的なチェック体制は欠かす事の出来ない重要な活動です。



主な活動組織

内部環境監査員

- 環境パトロール
- 内部環境監査

ISO事務局

- 法的順守事項管理
- 安全衛生管理
- 品質管理
- 環境管理
- 事業系一般廃棄物管理
- 安全衛生パトロール

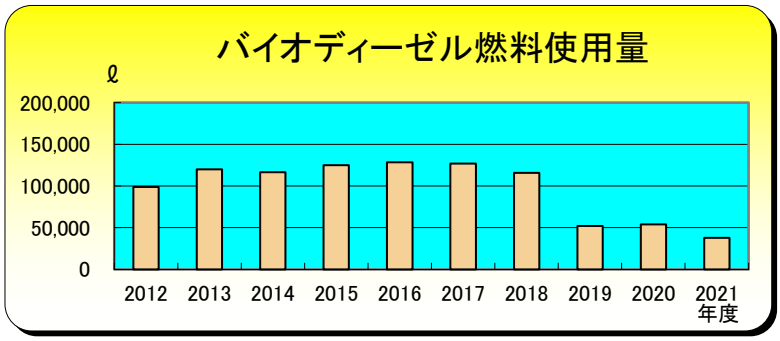
生産会議

- 受託産業廃棄物の入荷・出荷量等確認
- 生産計画

環境保全活動

軽油使用量の削減

《バイオディーゼル燃料の利用16年》

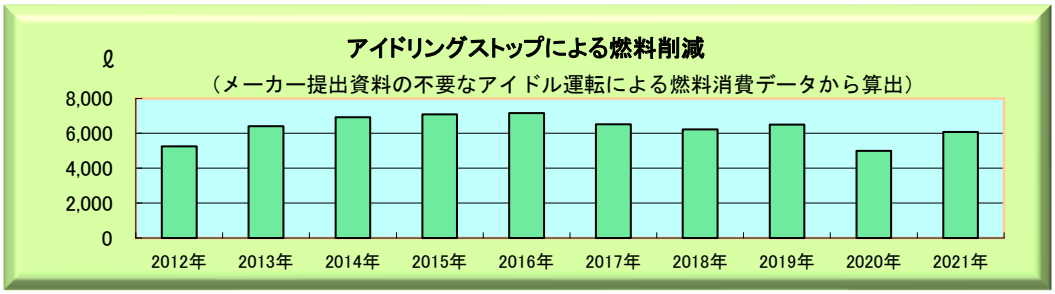


BDF給油機・夜間照明で利用しています。

2004年12月から廃食油を原料としたバイオディーゼル燃料化を開始。100%のバイオディーゼル燃料を自社車両の重機やフォークリフトと一部のトラックに年間を通じて給油し、化石燃料利用の削減活動を継続しています。また、その活動に関心を寄せてくださる企業様にもご利用頂いております。

アイドリングストップの推進

休憩時間や作業時に不要なアイドリングストップを行い、6,086ℓの燃料削減となりました。



CO2の排出量

弊社でCO2排出量が一番多いのは、収集運搬車、構内車両、営業車等の化石燃料の使用によるものです。その中でも軽油使用量が多い為、カーボンニュートラルのバイオディーゼル燃料を使用する事が、大変効果のあるCO2削減活動となっています。

バイオディーゼル燃料を利用できる運搬車両の減少。及び、年々走行距離数が増加している事から軽油利用によるCO2排出量は増加傾向にありますので、低炭素型大型トラックの開発とインフラ整備を期待しているところです。

LED化推進

第2工場作業場の水銀灯をLED化　消費電力　マイナス88%

水銀灯

LED

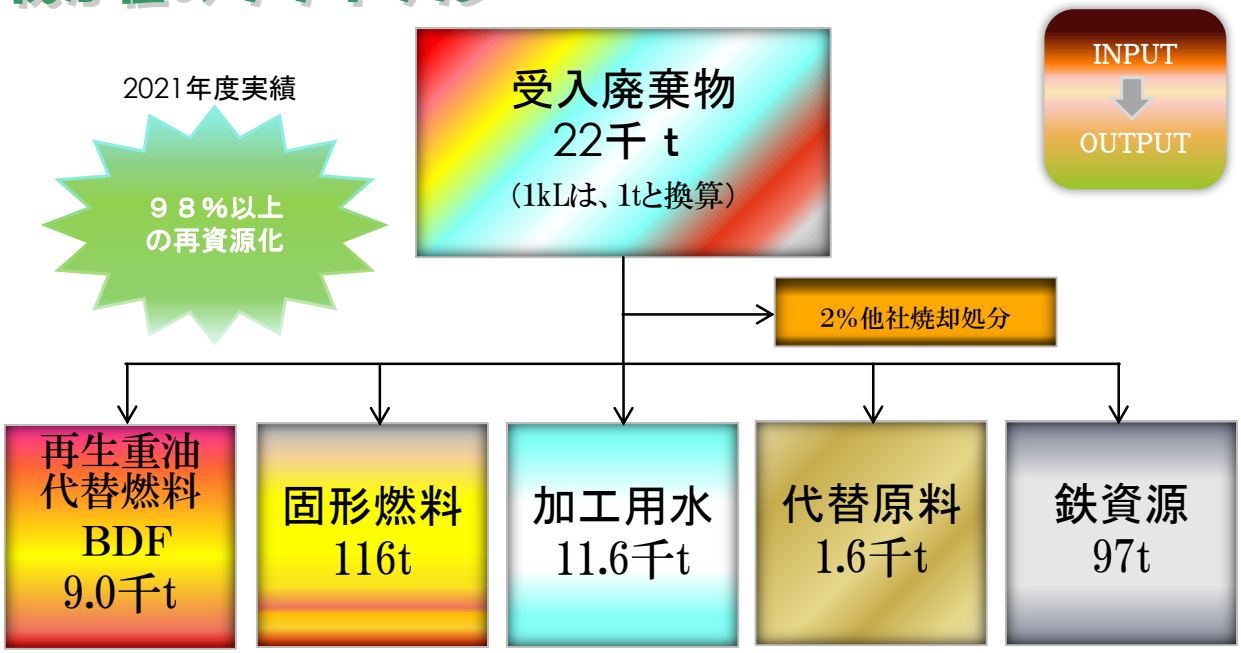
LED取付

第2工場事務所内の蛍光灯をLED化　　消費電力　マイナス58%

施行前

施行後

我が社のリサイクル



教育・訓練　（社内全体研修）

・第1回社内研修会　令和3年5月29日（土）企画部署　運送部

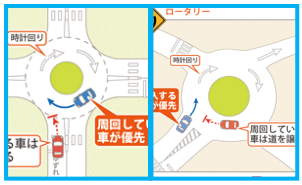
～車の点検大丈夫？　交通ルール大丈夫？～

目的：車の点検は使用者の責任と定められています。点検不良で見ず知らずの人を事故に巻き込む可能性が有るため、一般ドライバーが日常出来る点検方法や交通ルールの復習もかねて学び重大な事故を出させないこと。

車の適正空気圧を確認

空気入れの実践

ハイブリッド車は高電圧に注意

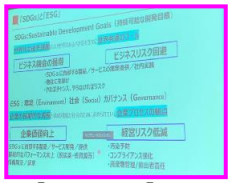


ﾗｳﾝﾄﾞｱﾊﾞｳﾄとﾛｰﾀﾘｰの違い

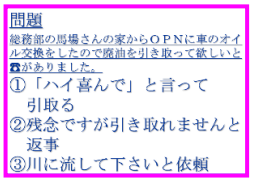
・第2回社内研修会　令和3年7月31日（土）企画部署　営業部　【会場：閑上公民館】

～SDGsの一歩先にあるもの～

目的：既にSDGsという言葉は世に広まり、概ね理解しているところですが、サーキュラーエコノミーとSDGsはどんな関係あるの？　どう違うの？　について取引企業様のご協力を頂き、リモートでお話を頂戴し理解を深める事。及び、クイズを交えた廃掃法に関する教育。


「SDGs」と「ESG」

サーキュラーエコノミーとは？



廃棄物クイズ

不法投棄の現状

・第3回社内研修会　令和3年10月30日（土）企画部署　生産部

～ 燃焼原理と初期消火 ～

目的：1、自衛消防隊組織に基づく役割の再確認
　　2、燃焼の原理を学ぶ
　　3、消火器の使い方を体験する

消火器は何秒噴射するか？

どれ位の粉を出すのか？

火災現場最前線のお話

燃焼する要素を理解する

天ぷら油が燃えた

家庭用消火器で実践

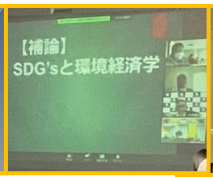
水消火器で訓練

・第4回社内研修会　令和3年1月29日（土）企画部署　総務部　【会場：閑上公民館】

～「SDGs」と会社の活動～

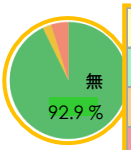
目的：地元企業と連携し、人材の育成を目指した活動をされている教授を講師にお招きし、SDGsと社会・会社・個人・当社の目指す「リサイクルによる自然環境保全、限りある資源の有効活用」について、今一度考えること。及び、安否確認システムテスト配信。消防団活動の報告。

SDGsと会社の活動



SDGsと環境経済学

持続可能な経済発展



状態	割合	件数
無事	92.9%	39
軽傷	2.4%	1
重傷	4.7%	2

安否状況確認テスト返信結果：設問①

消防団による操法訓練

コンプライアンス活動

ISO事務局活動の中で、環境法律動向状況を毎月調査し、弊社に関わる法改正内容を確認しています。廃掃法における法改正は特にありませんでしたが、脱炭素社会へ向けた改正温暖化対策推進法・プラスチック資源循環促進法・改正建築物省エネ法・改正大気汚染防止法・フロン排出抑制法など、新法や改正が多いことから、弊社に関わる内容を見落とさないように行っています。優良認定申請は、各県の収集運搬業許可期限に合わせて対応しております。

安心・安全をめざして

リスクアセスメント表に抽出されている起こり得る労働災害が、全て教育資料（作業手順書）に記載され、安全作業への教育漏れがないよう継続的に見直しを行っています。また、設備に関しては、事故原因が安全対策・設備不具合によるものは避けなければいけませんので、通常作業で危険と感じた事の報告が大事なのは言うまでもありません。日頃の点検においても、メンテナンス時期を知らせる重要なポイントです。大掛かりな修理工事による経費の削減、安定した処理設備を維持できるよう継続活動してまいります。

運送部KYT

生産部：漏洩訓練

アルコールチェック　記録表

トルクレンチの正しい使用方法

生産部KYT

生産部：落下防止対策

鉄箱の塗装メンテナンス

外壁の汚れ洗浄メンテナンス

環 境 監 査

EMS
ISO14001
JSAE387

MS
JAB
CM001

ISO14001 第7回更新審査

検出事項は改善事項の1件

安全衛生パトロール

・不要になったステンレスドラム缶の放置について
・点灯不良になった水銀灯のLED化について
・タンク内清掃作業手順の安全管理記載不足

内部監査パトロール

・緊急時備品ボックス内の数量管理不足
・アールロールコンテナのシートが破損
・収集運搬車両の携帯品不足

PRTR届出量

単位：kg

第一種指定化学物質の名称		取扱量	大気への排出	移動量
号番号	名　　称	令和3年度	令和3年度	令和3年度
53	エチルベンゼン	1,895	39.52	161.99
80	キシレン	34,427	260.57	383.38
86	クレゾール	410	0.9	0
258	ヘキサメチレンテトラミン	1,832	0.21	8.00
296	1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	3,268	9.26	55.09
300	トルエン	59,351	1,086	2,588
349	フェノール	1,954	4.00	8.00
392	ノルマルーヘキサン	2,919	295.32	2.28
400	ベンゼン	214	9.9	0.4

ばい煙測定

	令和3年9月	基準値	令和4年3月	基準値
ばいじん g/㎥	0.11	0.3	0.11	0.3
硫黄酸化物（SOx） ㎥/h	0.11	1.1	0.1	1.1
窒素酸化物（NOx） vo1ppm	110	180	140	180

資格取得者

2022年7月1日現在

1	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	2名	19	粉じん作業特別教育	1名
2	収集運搬業の許可申請に関する講習	2名	20	はい作業主任者技能講習	3名
3	処分業の許可申請に関する講習	2名	21	防火管理者	1名
4	産業廃棄物処理検定	6名	22	フルハーネス型墜落制止特別教育	9名
5	内部環境監査員外部講習修了者	11名	23	大型免許	16名
6	特別管理産業廃棄物管理責任者	17名	24	小型移動式クレーン	11名
7	危険物甲種	1名	25	床上操作式クレーン	5名
8	危険物乙種(4類)	34名	26	クレーン5t未満	2名
9	危険物丙種	3名	27	玉掛け	13名
10	運行管理者	3名	28	フォークリフト	29名
11	安全運転管理者	3名	29	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ ﾙｰﾁﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ講習終了	1名
12	第一種衛生管理者	3名	30	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ基礎講習修了	1名
13	安全管理者選任時研修終了	2名	31	ボイラー取扱技能講習終了	1名
14	特別・職長教育終了	4名	32	2級ボイラー技士	3名
15	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	6名	33	車両系建設機械（整地運搬積込及び掘削）	2名
16	有機溶剤作業主任者	6名	34	車両系建設機械（整地等）	3名
17	特定化学物質等作業主任者	3名	35	eco検定（環境社会検定試験）	5名
18	毒物劇物取扱者	1名	36	救命技能	22名

工場見学者様からのご意見

弊社では、お越し頂きました工場見学者様からご意見を頂いております。お客様から頂戴した有り難い御意見を「お褒め・アドバイス・要望・指摘」に分類し、関係する部署が対応する仕組みとなっており、管理業務の向上に結びついております。しかし、新型コロナウイルスの影響により、工場見学者数が激減し、リモートでの見学会も対応しましたが、残念ながらご意見も激減した年となってしまいました。

ﾋﾞｼﾞﾈｽﾊﾟｰﾄﾅｰとのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

お褒めの言葉
６件
・工場管理
・社内訓練など

アドバイス
３件
・配管のフレキホース
・工場内車両の鍵について

要望
４件
・リサイクル燃料の注文量増加
・処理排出量の増加

指摘
１件
・フォークリフトの速度について

地域社会との関わり

〖新型コロナウイルス拡大防止への取組〗

◎ お客様から新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた協力願い文書（40社）

◎ 次亜塩素酸水生成器を設置。また超音波式噴霧器11台設置し、すべての室内で次亜塩素酸水の空間噴霧を実施し、浮遊菌と床面付着菌の除菌。

◎ 頻繁に行う手指消毒でも手荒れ知らず。

地域の企業様より御紹介された除菌に有効な次亜塩素酸水

次亜塩素酸水生成器

超音波式噴霧器

〖雑誌スポンサー制度で寄贈〗

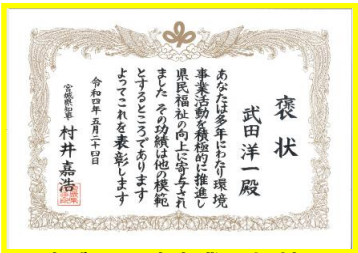
新名取市図書館の雑誌コーナー

〖障がい者施設による園芸活動への支援〗

玄関へお花の飾り付け

〖行政・団体・協会への積極的な関わり〗

◎名取市防災安全協会　監事
◎（一社）宮城県産業資源循環協会　理事
　同協会県南支部　副支部長と事務局
◎名取ロータリークラブ 2021～2022年度会長
◎岩沼地区安全運転管理者会　副会長
◎全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会
◎みやぎグリーン購入ネットワーク
◎名取市環境審議会委員
◎名取市商工会
◎仙台市商工会議所
◎（社）みやぎ工業会
◎東北ニュービジネス協議会
◎名取市消防団



褒状

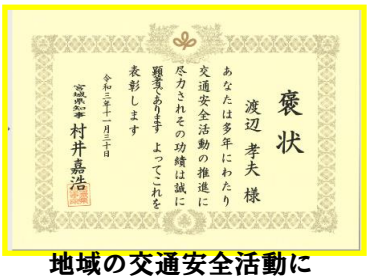
武田洋一殿

あなたは多年にわたり環境事業活動を積極的に推進し県民福祉の向上に寄与されました その功績は他の模範とするところであります よってこれを表彰します

令和四年五月二十四日

宮城県知事 村井嘉浩

地域の環境事業と福祉に携わり県知事より受賞



褒状

渡辺孝夫 様

あなたは多年にわたり交通安全活動の推進に尽力されその功績は誠に顕著であります よってこれを表彰します

令和三年十一月三十日

宮城県知事 村井嘉浩

地域の交通安全活動に携わり県知事より受賞

会社周辺の清掃活動

18年続けている清掃活動は、五月晴れのなか行われました。新型コロナウイルス感染予防のため、会社周辺を3ブロックに分け総勢21名で行いました。今年度は、第1工場と第2工場間だけでなく、少し範囲を広げてみた所、あるわあるわゴミの山。その中には、ビールの空缶や空ヨーグルトなど毎回食事しているようなゴミが散乱。他人に迷惑が掛からない駐車スペースは、引き続き注意が必要となりました。

第２工場西側

第１・第２工場南側

第１・第２工場北側

第１工場と第２工場間

参加者集合

不法投棄のパトロールと撤去作業

行政及び宮城県産業資源循環協会県南支部による不法投棄パトロール及び撤去作業は、2年連続して新型コロナウイルスの影響で中止となっています。

名取市消防団への参加

消防団員とは、火災時には各地区に備えてあるポンプで消火活動、残火処理、再燃防止などを実施。水害時には土嚢積み等で、河川の逸水、堤防の決壊防止などを行います。その他災害の状況に応じて人命、財産を守るために活動します。

消防訓練の様子

放水している弊社社員

水防訓練

自動販売機でみどりの募金

自動販売機で飲料水を買うことにより森林活動を支援しています。誰でも出来る簡単な支援システムだからこそ、全国に広がってほしいものです。
緑の募金は(社)宮城県緑化推進委員会へ寄付されみどりの少年団等の緑化活動へ役立てられます。

ＳＤＧｓの取組

SDGs宣言書

株式会社オイルプラントナトリ
2022年10月11日

当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組カテゴリ	SDGs達成に向けた重点的な取組テーマ	取組の内容	関連が強いSDGsゴール
人材・労働	人材育成	①労働者に能力開発の機会提供 ②男女共に活躍できる職場環境の構築	4 5 8
環境	自社工場の脱炭素推進	①バイオ燃料の自家発電設備の導入 ②高効率設備への更新促進 ③低炭素排出車両の導入 ④太陽光発電設備の設置	7 13
公正な事業慣行 組織体制	安全と法令順守を優先した職場環境づくり	①怪我・災害・交通事故リスクの低減活動 ②法令順守の教育を強化	3 4 16
製品 サービス	サーキュラエコノミー(循環型経済)を実感しよう	①リサイクル原料の入荷量アップ ②リサイクル燃料の販売先拡大	12
社会貢献 地域貢献	地域に必要な会社になるために	①地域活動への協力・支援 ②地域資源の積極的利用 ③災害時における市町村との協力 ④森林活動への支援	11 15
コミュニケーション	パートナーとの関係強化	①安定した処理先パートナーの確保 ②同業者同士のネットワーク強化による、協力体制の構築	17

※出典：七十七銀行様HP

協定書関連

地域町内会との協定

弊社は、平成14年1月30日に会社周辺の飯塚町内会様と環境保全に努める事を目的とした「環境保全のための協定書」を締結しております。

全国組織の災害時協定

エコスタッフ・ジャパン（株）様は、全国から認定50社を超え、教育研修と情報公開が徹底された廃棄物処理・リサイクル企業の全国ネットワーク体となっています。平成25年6月27日「自然災害や不可抗力」により事業活動が困難な状況に至った場合に、認定企業が相互に支援し合う協定を締結。

ＭＲＧの災害時協定

近県の同業者が集まり、自然災害や不可抗力により事業活動が困難な状況に至った場合、相互に支援し合う「お互い様共助」に関する協定を締結。（25年1月25日）

同事業内容企業との災害時協定

関東の同業者と、相互に支援し合う「おたがい様共助」に関する協定を締結。（24年10月1日）
販売している製品を生産出来ない場合にも支援し合う協定を締結。（25年6月1日）

持続可能な社会の実現に向けて、弊社はＳＤＧｓに取り組んでいきます。

次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主の認定
（くるみん認定）を受けています。

株式会社オイルプラントナトリ
〒981-1201
宮城県名取市下増田字広浦52番3号
TEL　022-382-2713　　FAX　022-384-0946
E-mail：opn-amenity@msf.biglobe.ne.jp
---発行　2022年10月　ＩＳＯ事務局---